

令和元年台風第 19 号による大雨に係る代替償却資産特例の適用申告について

仙 台 市

震災等により滅失し、又は損壊した償却資産の所有者の方等が、令和6年3月 31 日までの間に当該滅失し、若しくは損壊した償却資産に代わるものと認められる償却資産を取得、又は当該損壊した償却資産を改良した場合、当該取得又は改良された部分にあたる償却資産については、固定資産税の課税標準を取得又は改良の翌年から4年度分について、本来の価格の2分の1の額とする特例措置(代替償却資産特例)があります。〔地方税法第 349 条の3の4〕

この課税標準の特例措置の適用を申告する場合は、次の要領により書類を作成のうえ、申告してください。

I 特例措置の概要

1 特例対象者

令和元年台風第 19 号による大雨により滅失し、又は損壊した償却資産の所有者等

2 特例措置の対象となる資産

(1) 対象資産(代替償却資産)

ア 令和元年台風第 19 号による大雨の被災により滅失し、又は損壊した償却資産(以下「被災償却資産」という。)の代替として被災者生活再建支援法が適用された市町村内において取得した資産(以下「代替償却資産」という。)

※ 代替償却資産とは、原則として次の要件を満たすものをいいます。

- ・被災償却資産と種類が同一であるもの及び使用目的又は用途が同一であるもの。
- ・代替されることとなる被災償却資産が、一定以上(20%以上)の損害があることにより、平成 31 年度固定資産税(償却資産)の減免が適用された場合で、かつ代替償却資産に対し最初に固定資産税を課されることとなった年度において、償却資産課税台帳上、登録されていない(除却又は売却等の処分がなされている)ものであること。

※ 前年までに代替償却資産特例を適用した償却資産については、再度代替償却資産特例の適用を受けることはできません。

イ 令和元年台風第 19 号による大雨の被災により、被災償却資産を復旧し、又は補強等を行った場合における経費が改良費(資本的支出)に該当するもの

(2) 取得期限

令和元年 10 月 12 日から令和6年3月 31 日までの間に取得又は改良されたもの

(3) 特例率

取得又は改良の翌年から4年度分に限り、課税標準額を2分の1に軽減します。

(地方税法第 349 条の3の4以外の条項により、課税標準の特例措置が適用される場合には、それらが重ねて適用されます。)

II 提出要領

1 提出書類

代替償却資産特例の申告に当たっては、次の書類をご提出ください。

(1) 震災等に係る被災代替償却資産特例申告書-----[様式6-⑥]

(2) 代替償却資産対照表-----[様式6-⑦]

(3) その他

ア 被災償却資産が仙台市外で被災した場合は、下記の書類を添付してください。

- ・被災償却資産が令和元年台風第 19 号による大雨により滅失又は損壊した旨を証する書類(減免決定通知書(写)、固定資産(償却資産)課税台帳価格登録決定(修正)通知書兼賦課決定(修正)通知書(以下、修正通知書という。)(写)等)
- ・被災償却資産が所在したことを証する書類(平成 31 年度償却資産課税台帳登録事項証明書(写)等)
- ・被災償却資産について、代替償却資産に対し最初に固定資産税を課する年度において、償却資産課税台帳上、登録されていないことを証する書類(被災償却資産を除却又は売却等の処分をしたことがわかる書類(写)等)

イ 平成 31 年1月2日から令和元年 10 月 11 日までの間に取得し、令和元年台風第 19 号による大雨で被災した償却資産に

については、震災発生時に被災地に所在、所有したことを証する書類(納品書(写)等)を添付してください。

ウ 代替償却資産の取得者が、被災償却資産の所有者の相続人である場合や、合併法人である場合にも、特例の適用が認められます。この場合には次の書類を添付してください。

○相続人の場合:相続人であることを証する書類(戸籍謄本(写)等)

○合併法人の場合:合併法人であることを証する書類(履歴事項全部証明書(写)等)

※ 必要に応じて上記以外の書類を提出していただく場合があります。

2 提出期限

毎年1月31日(償却資産申告書と併せて提出してください。)

3 提出先

〒980-8671 仙台市青葉区二日町1-1

仙台市財政局税務部資産課税課償却資産係

Ⅲ 記載要領

1 「震災等に係る被災代替償却資産特例申告書」-----【様式6-⑥】

(1) (申告者)住所又は所在地

申告者の住所又は所在地を記載してください。

(2) (申告者)氏名又は名称

申告者の氏名又は名称を記載し、押印してください。

なお、所有者が法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を記載し、代表者印を押印してください。

(3) 代替償却資産及び被災償却資産に係る所有者の氏名(名称)・住所(所在地)及び償却資産所在地を記載してください。

(4) 代替償却資産の種類別内訳

「代替償却資産対照表」に挙げられた代替資産の資産種類別の数量及び取得価額の合計を記載してください。

(5) 令和元年台風第19号による大雨に係る減免適用状況

被災償却資産について、令和元年台風第19号による大雨に係る償却資産の減免申請を行っているかどうかを記載してください。また、仙台市において減免が適用されている場合に限り、修正通知書の文書番号を記載してください。

原則、被災年度に減免が適用されない損害(損害割合20%未満)であった場合は、特例の対象とはなりません。

2 「代替償却資産対照表」-----【様式6-⑦】

「被災(対象区域内)償却資産[課税台帳登録資産]」及び「(対象区域内)代替償却資産」

ア 所有者名

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの所有者名を記載してください。

イ 資産の種類

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの資産の種類を記載してください。

ウ 資産コード

被災償却資産側の欄には、「平成31年度分の償却資産申告書種類別明細書」等を参照して、資産コードを記載してください。

代替償却資産側の欄には、代替償却資産に対し最初に固定資産税を課されることとなった年度における償却資産申告の際に、種類別明細書に記載する資産コードと同じものを記載してください。

エ 資産の名称等・数量・取得年月・取得価額・耐用年数

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの資産の名称等、数量、取得年月、取得価額及び耐用年数を記載してください。

※ 必要に応じて被災償却資産の所在した他市町村へ問い合わせをさせていただく場合があります。